

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭62-16334

⑪ Int. Cl.<sup>4</sup>B 65 D 5/18  
5/66  
85/10

識別記号

庁内整理番号

6540-3E  
6540-3E  
6564-3E

⑬ 公開 昭和62年(1987)1月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 ヒンジ蓋付きバック

⑮ 特 願 昭61-101864

⑯ 出 願 昭61(1986)5月1日

優先権主張

⑰ 1985年5月2日 ⑱ 西ドイツ(DE) ⑲ P3515775.5

⑳ 1985年6月25日 ㉑ 西ドイツ(DE) ㉒ P3522614.5

⑳ 発 明 者 ハイッツ・フオツケ ドイツ連邦共和国、デー-2810フェルデン、モールシュ  
トラーセ 64㉑ 発 明 者 クルト・リートケ ドイツ連邦共和国、デー-2810 フェルデン、トリフト  
18㉒ 出 願 人 フオツケ・ウント・コン ドイツ連邦共和国、デー-2810 フェルデン、シーメンス  
ンパニー(ゲーエムベ  
ーハー・ウント・コン  
パニー)

㉓ 代 理 人 弁理士 鈴江 武彦 外2名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

ヒンジ蓋付きバック

## 2. 特許請求の範囲

(1) バック本体とヒンジ蓋とを備え、このヒンジ蓋が後壁で結合されかつ閉位置でバック本体に結合されたカラーを囲み、特に内側包装紙に包まれた一群のシガレット(スズ箔ブロック)を収容するカードボード等の折畳み可能材から直方体状に形成されるヒンジ蓋付きバックであって、バック本体(10)とヒンジ蓋(11)とカラー(22)との(垂直方向)長手方向縁部(26, 27, 28, 29, 30)を傾斜面とし、この傾斜部をシガレットの径に対応させ、断面形状が等角の八角形に形成されたことを特徴とするヒンジ蓋付きバック。

(2) 底壁(15)とヒンジ蓋上壁(21)とはそれぞれ傾斜コーナ(各コーナ37, 38)で関連する壁部に結合することなく長手方向縁部(26乃至29)の傾斜部の寸法に正確に沿い同

一面で整合する特許請求の範囲第1項に記載のヒンジ蓋付きバック。

(3) 側壁(13)と蓋側壁(18, 19)とがそれぞれ一方が他方の上に重なる側タブ(31, 32)と蓋側タブ(33, 34)から形成され、これらの側タブの幅は長手方向縁部(26乃至29)の隣接する各角部(45, 46)間の領域においてのみ重なるような幅とされている特許請求の範囲第1項又は第2項に記載のヒンジ蓋付きバック。

(4) 底部のコーナタブ(39)、結合用(内)側タブ(32)、蓋コーナタブ(40)および結合用内側の蓋側タブ(33)はそれぞれ底部(15)と蓋上壁(21)の幅よりも狭く形成され、特に長手方向縁部(26乃至29)の各角部(45, 46)間の側タブ(31)および蓋側タブ(33)の幅にしたがって形成されている特許請求の範囲第1項乃至第3のいずれか1に記載のヒンジ蓋付きバック。

(5) 内側タブ(31)と蓋側タブ(33)

はくさび状の(2重の)スタンピング(41)により、内側タブ(31)および蓋側タブ(33)の上縁部および底縁部がそれぞれ外側タブ(32)および蓋側タブ(34)の縁部に対してくさび状にずれて配置されるように互いに所定距離離隔している特許請求の範囲第1項乃至第4項のいずれか1に記載のヒンジ蓋付きバック。

(6) 前記カラー(22)は横方向前部に固定用舌片(42)を有し、この舌片(42)はU字状あるいは台形状のスタンピングにより形成され、初期位置では後壁(14)および蓋後壁(20)の方向に向けられ、閉位置ではヒンジ蓋(11)の蓋前壁(17)に面する縁部、特に内蓋側タブ(33)の垂直な前縁(43)に対して配置される特許請求の範囲第1項乃至第5項のいずれか1に記載のヒンジ蓋付きバック。

(7) 前記固定用舌片(42)はカラーの長手方向縁部(30)の傾斜部領域でバック本体(10)の上部領域の近部に配設される特許請求の範囲第6項に記載のヒンジ蓋付きバック。

この目的を達成するため、本発明によるヒンジ蓋付きバックはバック本体とヒンジ蓋とカラーとの(垂直方向)長手方向縁部が傾斜面とされ、この傾斜部をシガレットの径に対応させ、断面形状が等角の八角形のヒンジ蓋付きバックに形成される。

長手方向縁部を傾斜面としたことにより、ヒンジ蓋付きバックをこのバック内容物特に一群のシガレットの外形に密にかつ実際に正確に適合させることができ、材料を確実に節約することができる。

更に、内外側タブおよび蓋側タブを従来のヒンジ蓋付きバックよりも幅狭に形成することにより材料を節約することができる。側壁および蓋側壁を形成するために、これらの狭い側タブおよび蓋側タブは長手方向縁部の傾斜部の外側領域でのみ互いに重なる。

更に、本発明によるヒンジ蓋付きバックの利点は、長手方向縁部を傾斜面としたために握り易いという取扱い上の利点を有する。

### 3. 発明の詳細な説明

本発明は、バック本体とヒンジ蓋とを備え、このヒンジ蓋が後壁で結合されかつ閉位置でバック本体に結合されたカラーを囲み、特に内側包装紙に包まれた一群のシガレット(スズ箔ブロック)を収容するカードボード等の折畳み可能材から直方体状に形成されるヒンジ蓋付きバックに関するものである。

この「ヒンジ蓋付きバック」の用語は更にこの形式の他のバックも含むものである。包装材(薄いカードボード)は比較的堅いため、この形式のバックは変形が少なく比較的安定している。従来、ヒンジ蓋付きバックの壁部を限定する長手方向および横方向縁部は例外なく鋭く形成されている。これは実際に人気のあるこの形式のバックの材料によりかなりの費用がかかる理由の一つである。

本発明の目的は、従来のヒンジ蓋バックに対して材料による費用を減じ、構造および機能的に勝れた上記形式のヒンジ蓋付きのバックを形成することにある。

本発明の実施例によれば、カラーは傾斜部の領域にスタンピングにより形成された固定用の舌片が設けられ、この舌片はカラーの側面部を越えて僅かに突出し、ヒンジ蓋を開いたときは内蓋側タブの縁部背面に当接する。ヒンジ蓋を復るに回動してこのヒンジ蓋付きバックを開くときは、固定用の舌片が変形され、このため蓋は通常の方法により作動させることができる。

更に本発明はヒンジ蓋バックの構造およびその製造方法に特徴がある。

以下、添付図面を参照して本発明を詳細に説明する。

図示のヒンジ蓋バックは薄いペーパーボードあるいはカードボードで形成され、シガレット特にスズ箔(図示せず)の包装紙等の中に包まれる複数本のシガレットからなる一群のシガレットを収容するものである。ほぼ直方体状のスズ箔のブロックはこのヒンジ蓋付きバック内に確実に整合する。

第1図によると、ヒンジ蓋付きバックはバック本体10とヒンジ蓋11とを備えている。バック

本体10は前壁12、側壁13、後壁14および底壁15とからなる。ヒンジ蓋11は後壁に折曲げ線16の領域で結合されている。

バック本体10と同様に、ヒンジ蓋11は蓋前壁17、蓋側壁18、19、蓋後壁20(バック本体10の後壁14に結合される)および蓋上壁21とを備えている。

また、従来のヒンジ蓋付きバックと同様にカラー22を備え、このカラー22はカラー前壁23、カラー側壁24、25を有してバック本体10内に挿入される。カラー22の下部は前壁12および側壁13に結合される。上部はバック本体10から突出し、閉位置ではヒンジ蓋11で覆われる。

バック本体10の垂直方向の長手方向縁部26、27、これらの延長部を形成する蓋長手方向縁部28、29およびカラー前部の長手方向縁部30は傾斜面とされており、特に垂直方向の長手方向縁部の領域において内容物すなわちスズ箔ブロック(スズ箔の包装紙に包まれた一箱のシガレット)に対してスペースを節約する態様で密に近接する。

46間の領域の全面に互って一方が他方の上に重ねられて結合される。

底壁15および蓋上壁21の隅部は傾斜部とされて各隅部にはそれぞれ2のコーナ37、38が形成され、これらのコーナはそれぞれ傾斜面とされた長手方向縁部26、27および蓋長手方向縁部28、29の底部および上部に確実に整合する。

原則的には知られているように、内側タブ32および同様に内蓋側タブ33はそれぞれ底部コーナタブ39および蓋コーナタブ40を取付けられている。ヒンジ蓋付きバックとして折曲げた状態では、これらのタブはそれぞれ底壁15および蓋上壁21の内面に設置される。本実施例におけるヒンジ蓋付きバックでは、底部コーナタブ39および蓋コーナタブ40はヒンジ蓋付きバックの全幅よりも狭く、隣接する独立の角部45、46間の側タブ32および蓋側タブ33とほぼ同じ幅である。

更に本実施例では、内側タブ32および蓋側タブ33間にくさび形状にスタンピング(stamping)

垂直方向の長手方向縁部26乃至29をこのように傾斜面とされたヒンジ蓋付きバックは例えば第4図に示す包装用紙から製造することができる。ヒンジ蓋付きバックの側部を開じる原則にしたがって、側壁13は互いに重なる側部タブ31、32で形成される。蓋後壁20の領域の適宜に形成された蓋側タブ33および蓋前壁17の領域の蓋側タブ34は蓋側壁18、19を形成する。一方、側タブ31乃至34間およびヒンジ蓋付きバックあるいはブランクすなわち包装紙(第4図)の壁部の近部に帯状部35、36が配設される。この帯状部はコーナ部に互って折曲げられ、各長手方向縁部26、27および蓋長手方向縁部28、29は独立した2の角部45、46から形成される。

したがって、側タブ31、32および蓋側タブ33、34はヒンジ蓋付きバックの全幅をより狭くし、特に傾斜面部あるいは帯状部35、36の寸法を小さくする。側タブ31、32および蓋側タブ33、34はそれぞれ独立した角部45、

41が施され、それぞれ関連する外側タブ31および蓋側タブ34(第5図および第6図)に対してはね状に作用して上方および下方に戻す作用をなす。内および外の側タブ31乃至34間のこの食い違いにより互いに重なる側タブ間の相対的位置が正確でなくても補償することができる。

ヒンジ蓋付きバックには固着あるいはヒンジ蓋11の開位置を安定させる固定手段が設けられる。このために、カラー22の横方向部、特にカラーの長手方向縁部30の領域に固定用舌片42が設けられ、この舌片は作用位置でカラー22の外形よりも僅かに突出している。この固定用舌片42は略U字状のスタンピングによりカラー側壁24、25とカラー前壁23との間の運移部に形成される。固定用舌片42はこのように所定位置に突出して形成され、ヒンジ蓋11が閉じたときにこの固定用舌片42の背部に内蓋側タブ33の前縁43が係合し、あるいはこの舌片により開位置方向に押圧される。ヒンジ蓋付きバックを開くために、ヒンジ蓋11には通常の方法により蓋側タブ

33の前縁43が設けられ、固定用舌片42による保持力に打勝つ作用をなす。より簡単に開放できるようにするため、第5図および第6図では内蓋側タブ33の底部前方のコーナ部に傾斜部44が形成されている。

多角形状の長手方向縁部26乃至29を備えた上記のヒンジ蓋付きバックを製造する場合には、第2図および第3図にしたがって最初に長手方向縁部26乃至29を傾斜させた縦長の一体のブランクすなわち包装用紙を予成形する。この包装用紙はこれによりほぼU字状の断面形状となる。同時に、立上がった側タブが戻し力により垂直位置を占めるようになるまで内方に変形される。この傾斜した長手方向縁部26乃至29が形成された後、この包装用紙は次の工程に送り出されて更に折曲げられ、シガレット等を充填される。

カラー22の詳細は第7図に示されている。このカラー22の長手方向縁部30は傾斜面とされ、したがってバック本体10に対応したカラーの独立角部47, 48が形成される。更に、各カラー

側壁24, 25の後壁に対して角度を設け特に背部の傾斜面とした長手方向縁部27あるいは蓋長手方向縁部29に整合する態様で縁部帯材49が取り付けられている。この角度を付けた縁部帯材49はカラーの変形に対する強度を大きくする。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1実施例による傾斜した長手方向縁部を備えるヒンジ蓋付きバックの斜視図、第2図は途中まで折曲げた第1図のヒンジ蓋付きバック用紙の斜視図、第3図は第2図の包装用紙の断面図、第4図は第1図のヒンジ蓋付きバック用紙の連続した包装用シート材内における配置を示す説明図、第5図は閉位置におけるヒンジ蓋付きバックの上部を拡大して示す側面図、第6図はヒンジ蓋を開く状態を示す第5図に対応した説明図、第7図は第1図のヒンジ蓋付きバックに使用するカラーの詳細を示す斜視図である。

10…バック本体、11…ヒンジ蓋、12…前壁、13…側壁、14…後壁、15…底壁、16…折曲げ線、17…蓋前壁、18, 19…蓋側壁、

20…蓋後壁、21…蓋上壁、22…カラー、23…カラー前壁、24, 25…カラー側壁、26, 27, 28, 29, 30…長手方向縁部、31, 32, 33, 34, 39, 40…タブ、35, 36…帯状部、37, 38…コーナ、42…舌片、45, 46, 47, 48…角部。

出願人代理人 弁理士 錦江武彦

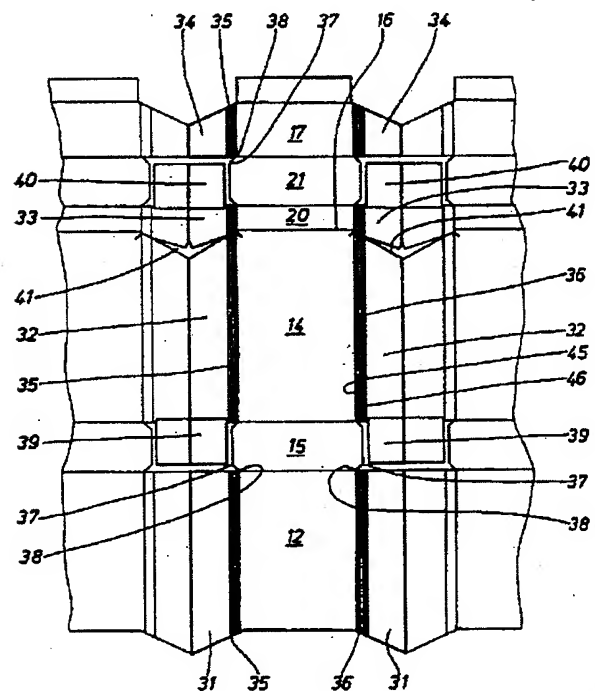
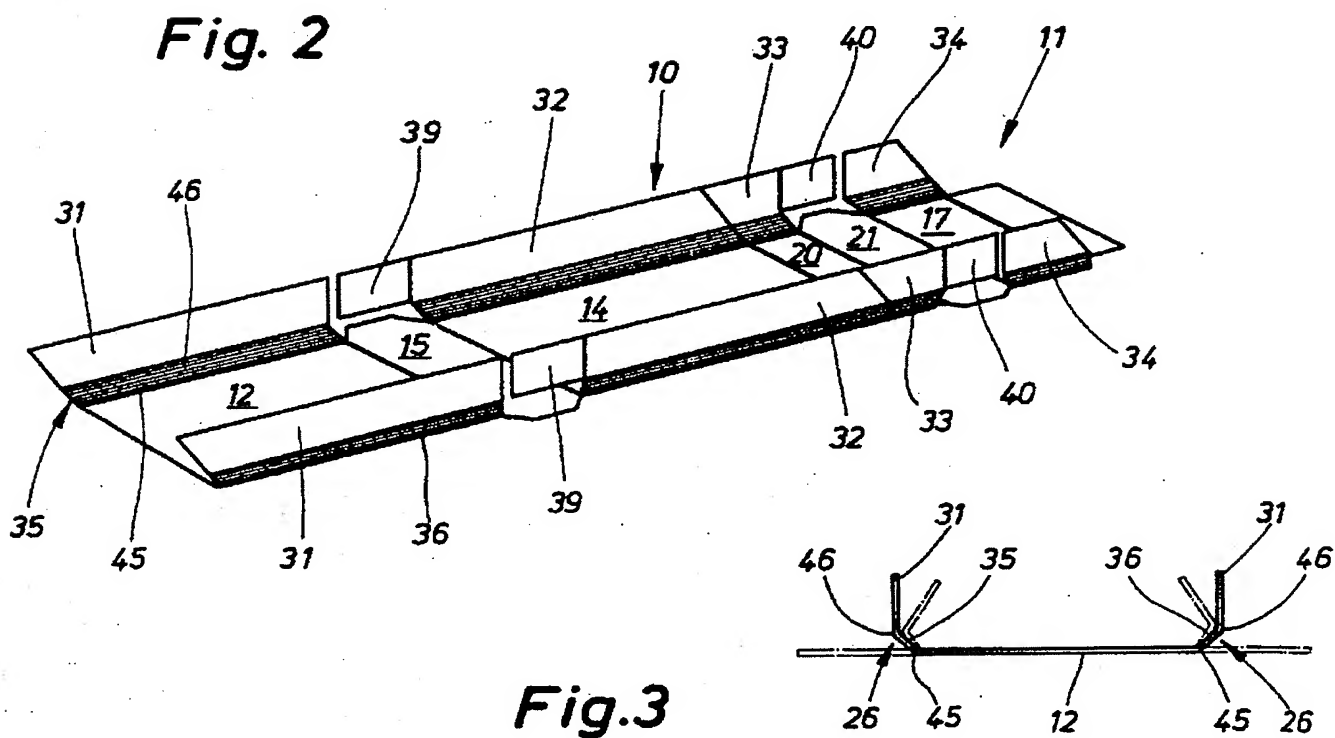
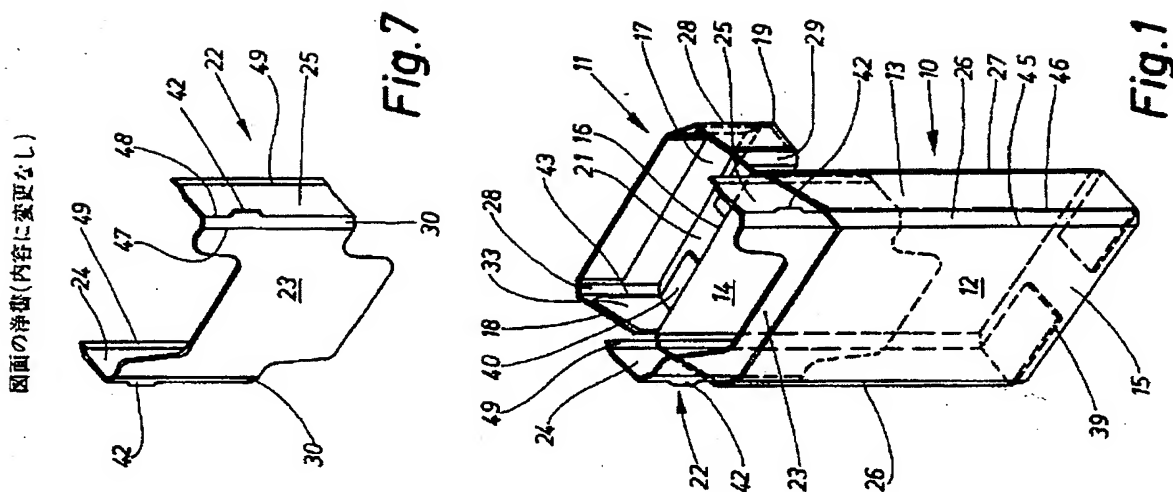


Fig. 4



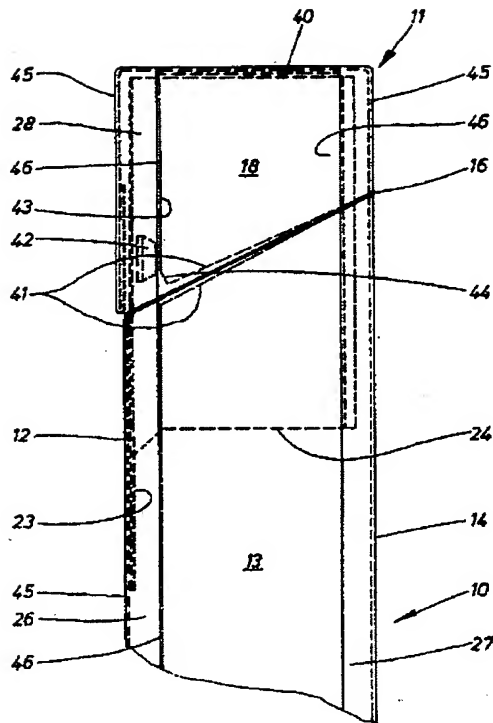


Fig. 5

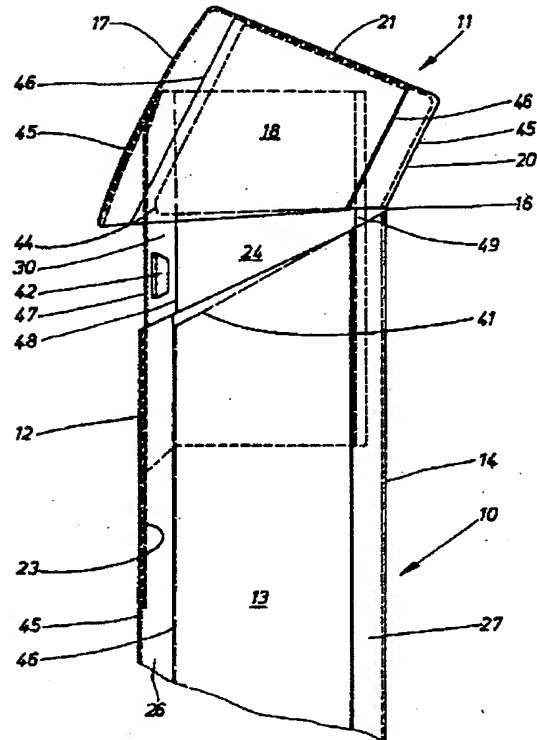


Fig. 6

特許補正 (方式)

昭和61年 8月 8日

特許庁長官 黒田 明雄 殿

1. 事件の表示  
特願昭61-101864号

2. 発明の名称  
ヒンジ蓋付きバック

3. 補正をする者  
事件との関係 特許出願人  
名称 フォッケ・ウント・コンパニー  
(ゲーエムベーハー・ウント・コンパニー)

4. 代理人  
住所 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号 UBEビル  
〒100 電話03(502)3181 (大代表)  
氏名 (5847) 弁護士 鈴江 実彦

5. 補正命令の日付  
昭和61年7月29日

6. 補正の対象  
図面

7. 補正の内容 別紙の通り  
図面の浄書(内容に変更なし)

方式  
審査 (横山)